

さんけん新聞

発行
NPO法人
三段峡—太田川
流域研究会
(代表・本宮炎)

〒731-3813
広島県山県郡
安芸太田町
柴木1734
090-34213046

一口メモ

▼深入山の植物
二百八十二種が確認され、広島県内の十二%にあたる。国と県の絶滅危惧種の

の十一種と草原生植物の八種が見られる。秋にはマルバハギ、オミナエシ、キキョウ、マ

ツムシソウ、ワレモコウ、モリアザミ、ムラサキセンブリが、可憐な姿でハイカーを迎える。

本宮事務局長

プランづくりで調整役

企画・運営プランは講師、町教委生涯学習課とそれぞれ話し合っており、「講師と隊員が楽しかったと思えるイベント」を目標に決めた。「深入山の現状を伝えたい研究者の思い」と「隊員をいかに楽しませるか」との調整がポイントだった。

座学はメニューを盛り込み過ぎて長時間にならないようテーマを二項目に絞り、各

二十五分に抑えた。他の山との違いなど、隊員へ質問するよう心掛けた。集中させるための机を置かず、スクリーンに対して扇形にイスを並べ、気分転換用にアメを用意して、リラクセスさせる工夫もした。

白川勝信理事(生態学博士)を講師に「しらかわさき感想があり、森と光の関係」と歩く会が九月二十六日に開かれた。さんけんメンバー四人が、三段峡の森の成り立ちや特徴を学んだ。(写真)

「しらかわさんと歩く会」 渓谷の森の仕組みを学ぶ

午後には講師二人から、深入山の自然や希少なチョウの説明を聞いた。締めはお土産づくり。採集した昆虫を観察しながら描いた。

隊員は「また来たい」「自然を守りたくなった」「よく見て描いたのが面白かった」と話し、深入山の魅力を感じていた。

白川さんは「植物の名前だけ教えるガイドはしたくない」と話す。さんけんは絶妙なバランスの中で形成される森の仕組み、植生を伝える活動を進める。

隊員 11人 草原の自然に触れる

安芸太田町悪ガキ講座「深入山生き物調査隊」

安芸太田町悪ガキ講座「深入山生き物調査隊」が9月24日、小学生11人が参加して開かれた。主催は同町PTA連合会。講師は西中国山地自然史研究会の上野吉雄さん、上手新一さん、佐久間智子さん。さんけんの本宮宏美事務局がコーディネーター役で協力した。

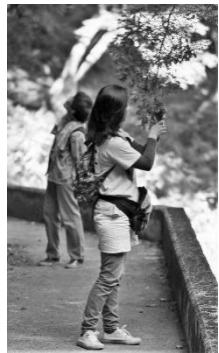


網を手に草原でチョウを追う隊員たち



講師の左から上野吉雄さん、上手新一さん、佐久間智子さん

隊員は「また来たい」「自然を守りたくなった」「よく見て描いたのが面白かった」と話し、深入山の魅力を感じていた。



白川さんは「植物の名前だけ教えるガイドはしたくない」と話す。さんけんは絶妙なバランスの中で形成される森の仕組み、植生を伝える活動を進める。

南峰と歩く③

鉦ヶ瀬(かねがせ)

昔鉦の音が聞こえ瀬に響いた

熊南峰の文献に出会う前、地図を頼りに景勝を探していた頃、鉦ヶ瀬の「カネ」の由来が気になっていた。岩に黒い箇所が多いとか、節理が鋭いとか、理由を妄想したのを覚えている。

折れた先に続く、まっすぐな瀬である。右手にトチの巨木が根を這わせ、鬱蒼とした森が広がる。一九五九年の調査報告によると、ツキノワグマの棲息中心域らしい。

「木串瀬」としていた。少し上流の景勝・木串にちなんだ名だが、おそらく運材夫などの取材するうち、鉦ヶ瀬の名にたどり着いたと思われる。

昔、仏岩から時々鉦の音が聞こえ、瀬に響いていた。芽吹くと真っ赤に染まる。芽吹くと真っ赤に染まる。

奥出雲を訪れた際、どこかのたたら場でも祀られていた、と知った。「カネ」は鉄ではないか。妄想は止みそうにない。(松尾 俊孝)

■伝承を丹念に収集

黒淵から上流へ十分。円錐形の仏岩から、川が左へ

南峰は名勝指定の頃まで、

覆うカツラ(桂)の原木がある。芽吹くと真っ赤に染まる。

そうにない。(松尾 俊孝)

写真と文にこだわる

尾崎 秀司さん

この人



趣味は20代からの写真。西中国山地しか撮らず、三段峡を「親分」と言う。広島県写真連盟会長や自治会長、地域の草刈り隊まで手を広げる「兄貴分」だ。

ブログ「楽農楽写Z」や安芸太田町のホームページ「安芸太田36景」に掲載される写真は、住む人たちへ美しい地域に生きているのだと気付かせる。さんけん新聞の編集・制作を担当する。テーマの絞り方の指示や原稿をチェックして、パソコンで紙面を組み上げる。写真と文章のエキスパートだ。(炎)

三段峡開峡100周年記念イベント

2017.10.14(土)

- ①式典 9:30~ 三段峡交流広場
- ②シンポ&パネルディスカッション 10:30~12:30 三段峡ホテル
基調講演「三段峡憲章と次の100年の三段峡」
講師=白川勝信氏(芸北高原の自然館・主任学芸員)
- ③ガイドツアー 13:30~16:30 三段峡ホテル前集合
小学生以上、無料、定員60人、要事前申し込み

■問い合わせ先 安芸太田町観光協会 ☎ 0826-28-1800